

十五有のちまたに流轉する衆生にて候也。然間、如何として三界を離るべきと申に、佛法修行の功力に依て無明のやみはれて法性眞如の覺を開くべく候。さては佛法は何なるをか修行して生死を離るべきぞと申すに、但一乘妙法にて有べく候。されば慧心僧都、七箇日加茂に參籠して、出離生死は何なる教にてか候べきと祈請申され候しに、明神御託宣云、釋迦說教留一乘、諸佛成道在妙法、菩薩六度在蓮華、二乘得道在此經云云。普賢經云、此大乘經典諸佛寶藏、十方三世諸佛眼目、出生三世諸如來種種云云。此經より外はすべて成佛の期有べからず候上、殊更女人成佛の事は此經より外は更にゆるされず。結句爾前の經にてはをびたゞしく嫌はれたり。されば華嚴經云、女人地獄使、能斷佛種子、外面似菩薩、內心如夜叉云云。銀色女經云、三世諸佛眼墮落於大地、法界諸女人永無成佛期云云。或又女人には五障三從の罪深しと申。其者内典には五障を明し、外典には三從を教たり。其三從者少しては父母に従ひ、盛にしては夫に従ひ、老ては子に従ふ。一期身を心に任せず。されば榮啓期が三樂を歌ひし中にも、女人と生れざるを以て一樂とす。天台大師云、他經但記菩薩不記二乘、但記男不記女とて、全く餘經には女人の授記これなしと釋せり。其上、釋迦・多